

第2次日野市立図書館基本計画
進捗管理報告書

平成29年6月

1. 評価の方法

- 「第2次日野市立図書館基本計画」の取組みについて、達成度や残された課題について評価・検証を行いました。
- 取組みの達成度については、次の方法から得点化をおこなった結果を示しています。

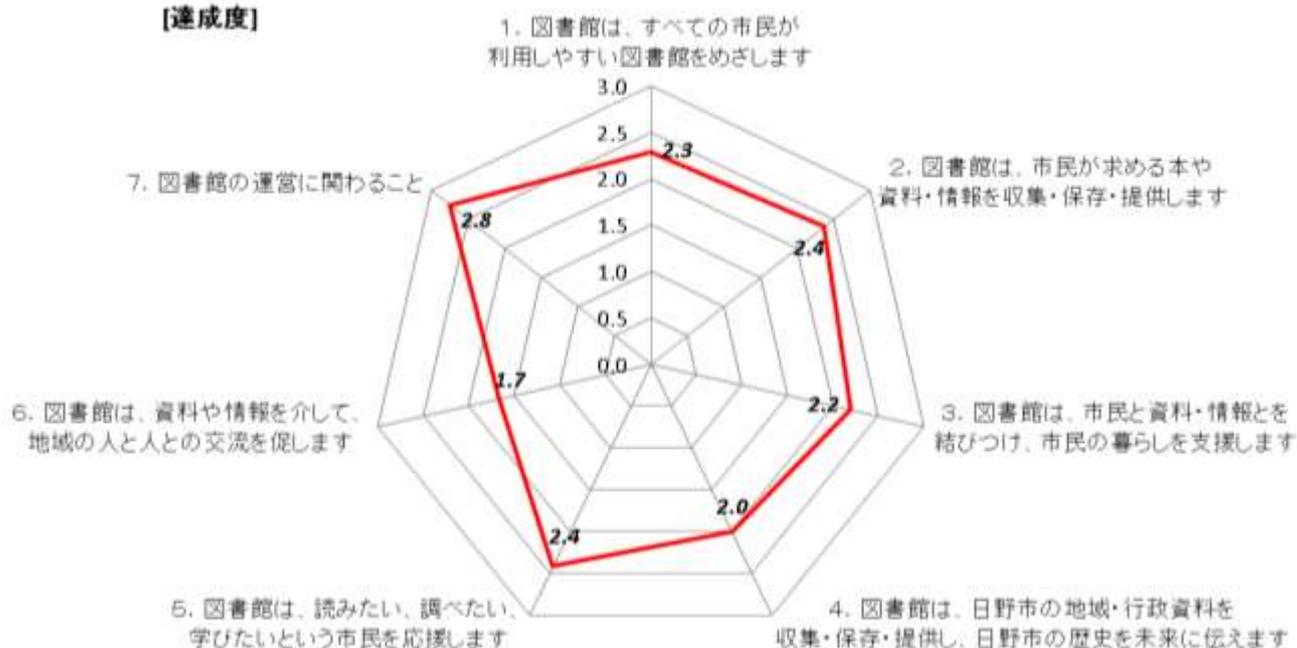
【達成度の得点化】

得点	評価基準
3	実施、達成
2	実施中
1	準備・検討中
0	未実施

2. 基本方針ごとの評価結果

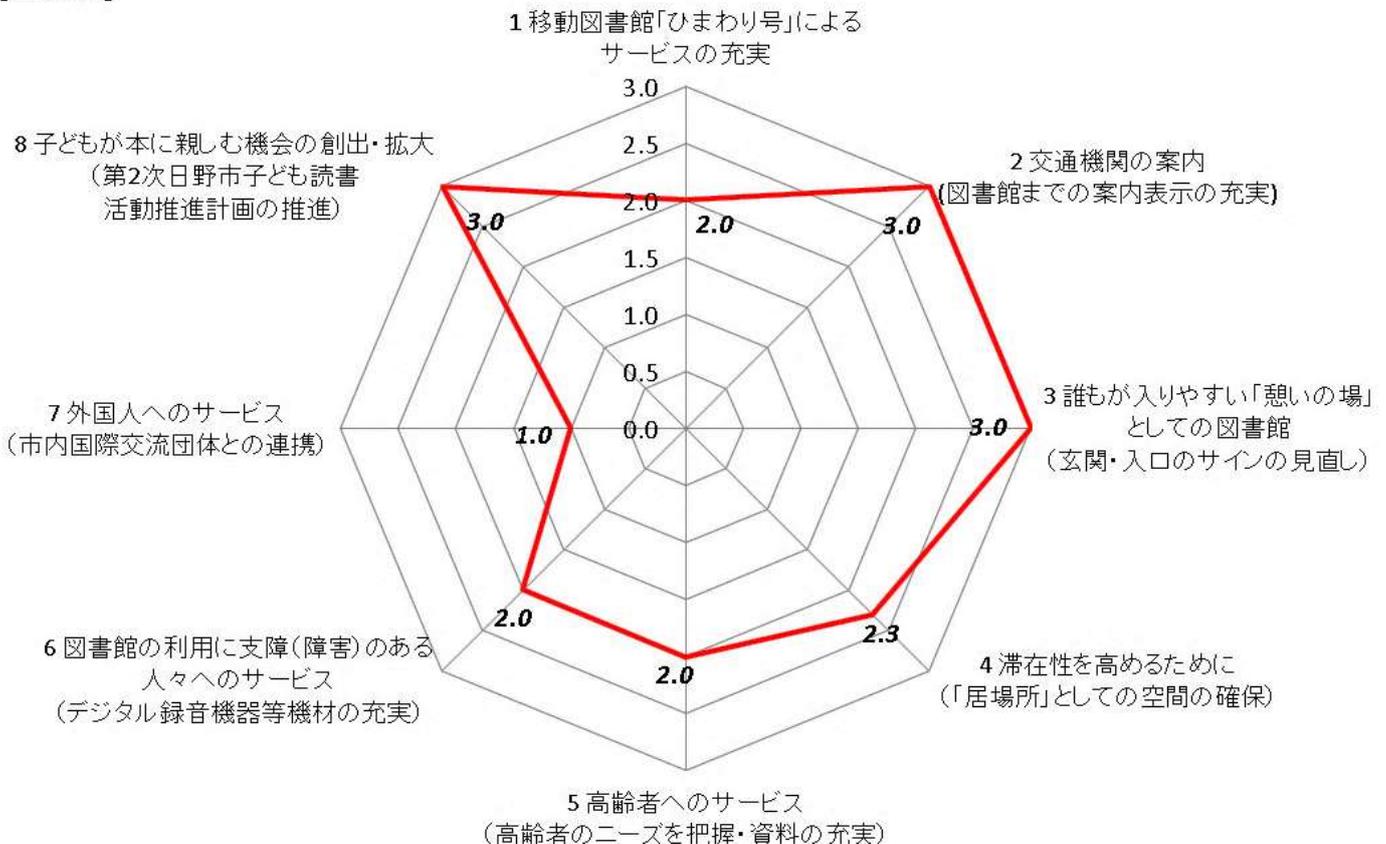
- 各基本方針の達成度は、各取組みの平均点で算出しています。
- もっとも達成度が高かったのは、「7. 図書館の運営に関わること」です。この基本方針は、図書館施設の保持やICT化の推進などについての取組みを内容としています。（達成度2.8）
- 次に高かったのは、「2. 図書館は、市民が求める本や資料・情報を収集・保存・提供します」「5. 図書館は、読みたい、調べたい、学びたいという市民を応援します」です。（達成度2.4）
- 一方で、もっとも達成度が低かったのは、「6. 図書館は、資料や情報を介して、地域の人と人との交流を促します」（達成度1.7）、次に低かったのは「4. 図書館は、日野市の地域・行政資料を収集・保存・提供し、日野市の歴史を未来に伝えます」（達成度2.0）となっています。

【達成度】



1. 図書館は、すべての市民が利用しやすい図書館をめざします

[達成度]



[主な成果・課題等]

<○成果、●課題>

(1) 誰もが利用しやすい身近な図書館

1 移動図書館「ひまわり号」によるサービスの充実

- 窓口での「ひまわり号紙工作」の配布による移動図書館のPRの実施。
- 団体貸出について、要望を受けて巡回場所を一か所増やした。
- 巡回場所において予約や資料検索等ができていない状況。次期システムに向けて検討課題とする。

2 交通機関の案内（図書館までの案内表示の充実）

- 道をよく尋ねられるという豊田駅南口のお店に、図書館までの案内地図の掲示・配布を依頼。（中央）
 - 日野駅西口の地図看板に「日野図書館」のシールを添付。（日野）
 - 区画整理の終了を見据え、駅前看板作成の準備・検討が必要。（中央）
- ※高幡、平山、百草は、駅が近い施設のため、また、市政図書室は、市役所内にあるため、最寄駅からの案内は不要と判断。多摩平図書館では、多摩平の森ふれあい館を管理している男女平等課と推進。

(2) 誰もが入りやすい「憩いの場」としての図書館

3 誰もが入りやす「憩いの場」としての図書館（玄関・入口のサインの見直し）

- 既存の案内表示や看板の交換や修繕を実施した。
- 館内ポスター等の掲示方法を見直し、わかりやすいサインに改善した。（平山）
- 入館した時に館内の照明の明るさ等に対策が必要な場所がある。（高幡）

4 滞在性を高めるために（「居場所」としての空間の確保）

- ハード面では、空調設備更新修繕（中央、高幡、百草）、机の入れ替え（中央2階）、椅子の入れ替え及び設置（中央・多摩平・百草）を実施。
- テーマ・季節展示の実施（全館）、おはなしの部屋の開放（多摩平）、ブラウジングコーナーへの荷物籠の設置、談話室で食事可能な時間の拡大（平山）。
- 施設の老朽化対策、ブラインドの設置や修理、トイレのリニューアル等の対策が必要な場所がある。

(3) 多様な利用者へのサービス

5 高齢者へのサービス（高齢者のニーズを把握・資料の充実）

- ボランティアによる宅配を拡大。
- 高齢者向け紙芝居の購入。
- 購入可能な大活字本・高齢者向け紙芝居を入手するよう努めているが、出版点数が少ないため、数多くは揃えられない。

6 図書館の利用に支障（障害）のある人々へのサービス（デジタル録音機器等機材の充実）

- 音訳者の技術向上のための、講習会と個別指導を引き続き実施。
- 「広報ひの」による利用の呼びかけ。
- 平成27年度、新規音訳者の募集を行い17人を登録した。
- 庁内関連部署と連携の余地がある。
- 新規点訳者募集について検討中。

7 外国人へのサービス（市内国際交流団体との連携）

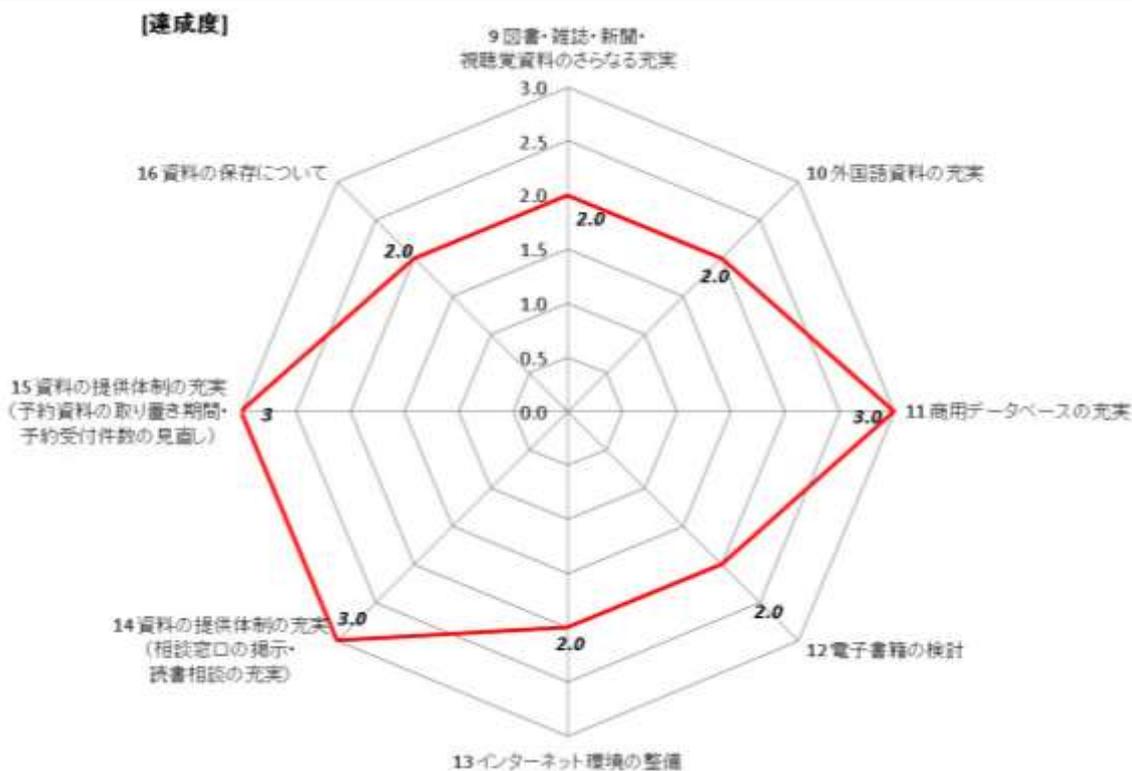
- ホームページは外国語変換機能あり（英語、中国語、韓国語）。
- 国際交流協会との連携について検討に至らなかった。

(4) 子どもが本に親しむ機会の創出・拡大

8 子どもが本に親しむ機会の創出・拡大（第2次日野市子ども読書活動推進計画の推進）

- 平成27年度に第3次日野市子ども読書活動推進計画策定済み。（計画期間：平成27年度～平成31年度 5か年）
- 計画に基づいた取組みを行い、進捗管理、関係各課との連携を推進している。

2. 図書館は、市民が求める本や資料・情報を収集・保存・提供します



[主な成果・課題等]

<○成果、●課題>

(1) 資料の充実

9 図書・雑誌・新聞・視聴覚資料のさらなる充実

- 収集方針に基づく選書基準を作成中。(平成29年度中に作成予定)
- 紙芝居を高年齢者向けのものも含め購入、受入。
- CDは、クラシック以外に和・洋のポップスやロックの購入を開始した。

10 (外国籍の利用者向け) 外国語資料の充実

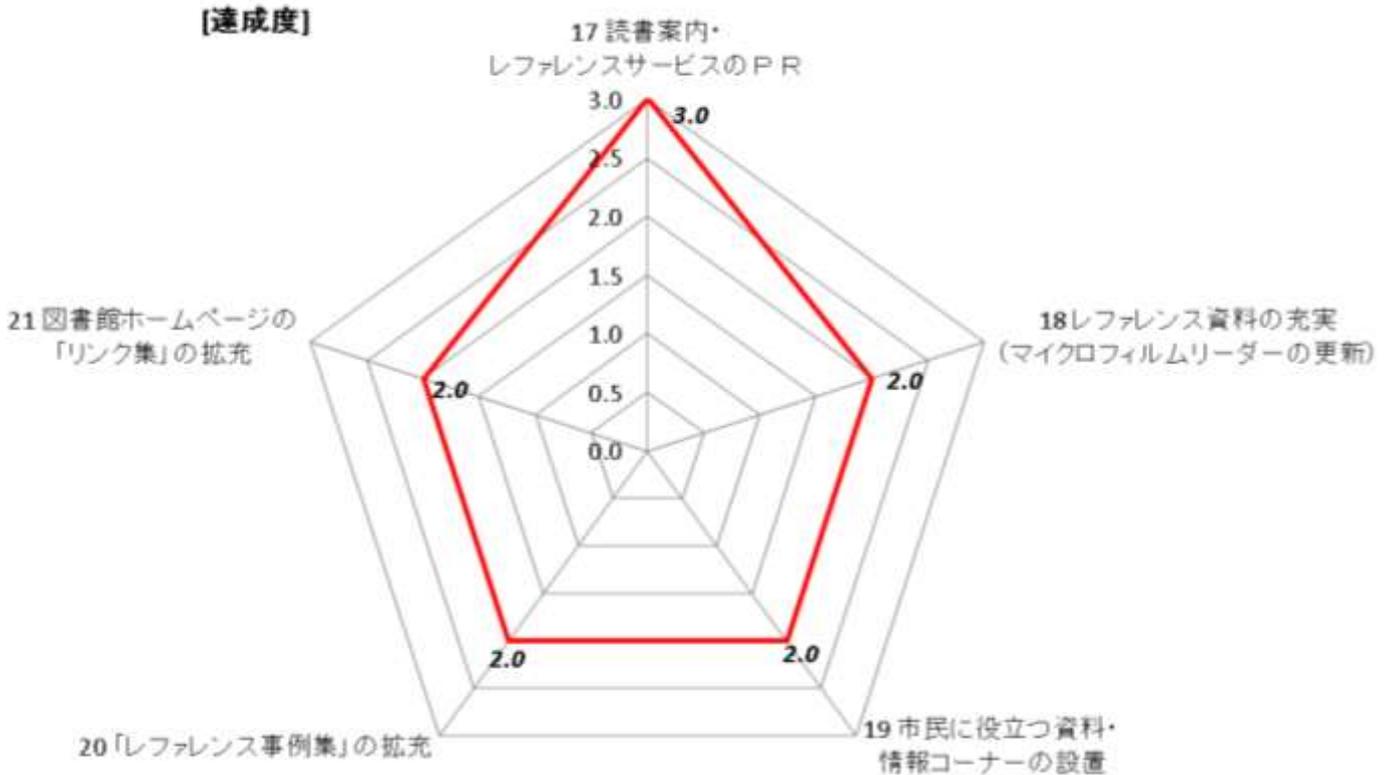
- 外国語図書(英語絵本)を購入。
- 外国語資料受入のための書誌作業マニュアルを改訂。
- 平成30年度から小学校での英語教育が正式教科となることや、2020年にオリンピック・パラリンピックの東京開催が予定されていること等を背景に、国際理解や外国語教育を支援するための資料の選定が課題。

11 商用データベースの充実

- 国会デジタルコレクションの図書館送信閲覧サービス開始。(中央は印刷も可)
- 図書館ホームページ、館報「ひろば」、ポスター等によるPRの実施。
- 新聞、法規判例、官報等10種類のデータベースを提供している。また、ほぼすべてのデータベースが全館で利用可能となった。
- 法規判例を検索する「Lexis AS ONE」の図書館向け検索サービスが終了したが、次の法規判例データベースを検討し、TKCローライブラリーを導入することとした。
- 平成25年度より、ナクソミュージックライブラリーの提供を開始した。
- 利用の促進が改題。
- 「データベースの利用で出来る調査の事例集」の作成を検討中。

<p>12 電子書籍の検討</p> <p>○担当者による打ち合わせを実施。収集した情報を全職員へ発信・共有。</p> <p>○電子書籍システム提供会社1社を招き、システムの概要、経費等を確認。今後も次期システム導入に合わせた検討を引き続き要する。</p> <p>●市民ニーズと提供可能な電子書籍が合致しているかどうかの検証が必要。</p>
<p>(2) インターネット環境の整備</p>
<p>13 インターネット環境の整備</p> <p>○全館で利用者用インターネットの検索可能な環境を保持している。</p> <p>○セキュリティ強化のため、操作履歴や閲覧履歴の取得をするログ管理システムを導入、運用開始した。</p> <p>●公衆無線LANからフリー・ワイファイへの切り替えが検討課題。</p>
<p>(3) 資料の提供体制の充実</p>
<p>14 資料の提供体制の充実（相談窓口の掲示・読書相談の充実）</p> <p>○全館の相談窓口に表示を設置した。</p> <p>○求められた資料を的確に提供するため、職員のレファレンススキルの向上等目的とした研修を適宜実施している。</p>
<p>15 資料の提供体制の充実（予約資料の取り置き期間・予約受付件数の見直し）</p> <p>○予約数の多い資料は、各館分担して適切に購入を図るなど、できるだけ早く提供できるように努めた。</p> <p>○予約資料の取り置き期間を徹底した。</p> <p>○京王線沿線七市の図書館相互利用・連携を推進するため、ポスター掲示などで周知に努めた。</p>
<p>(4) 資料の保存について</p>
<p>16 資料の保存について（書庫スペースの確保）</p> <p>○棚や図書の移動による書庫の収容冊数の増加。</p> <p>○保存と除籍の仕分けの実施。除籍本はリサイクル図書として保育園等公共施設や市民に頒布。</p> <p>●旧小学校の利用等、書庫の増設は困難となっている。</p>

3. 図書館は、市民と資料・情報とを結びつけ、市民の暮らしを支援します



[主な成果・課題等]

<○成果、●課題>

(1) 読書案内・レファレンスサービスの充実

17 読書案内・レファレンスサービスのPR

- レファレンスサービスをPRするテーマ展示の実施。
- 様々な本と利用者をつなげられるよう、テーマ展示を継続して実施している。
- 新選組関連資料貸出促進のため、「新選組資料リスト」の周知に努め、都立図書館ホームページで公開される東京都公立図書館特別コレクションに新選組関係資料を登録した。(日野)
- 七生支所展示スペースにおいて、読書案内と図書館事業の紹介を実施。
- 「まちゼミ」のゼミ内容に合わせた読書案内のチラシを作成し各店舗で実施した。
- 図書館報「ひろば」の新刊案内、継続的な読書案内、レファレンスサービスのPRを引き続き行う。

18 レファレンス資料の充実 (マイクロフィルムリーダーの更新)

- 新聞地方版のマイクロフィルムを継続して購入している。
- 新聞関係、法律判例、官報等の分野における有料データベースを提供している。
- マイクロフィルムの経年劣化対策や保存場所の確保について検討が必要。
※現在の商用データベースでは完全な代替にならない。

19 市民に役立つ資料・情報コーナーの設置

- しごと情報 (中央)、ヤングスタッフおすすめ本 (高幡)、新選組 (日野)、ヤング向けの本 (多摩平)、平山季重 (平山)、紫波町 (市政)、小島善太郎 (百草) などのコーナーを設置。各館工夫をこらした展示で市民に役立つ資料の提供、PRをしている。

(2) 情報の発信

20 「レファレンス事例集」の拡充

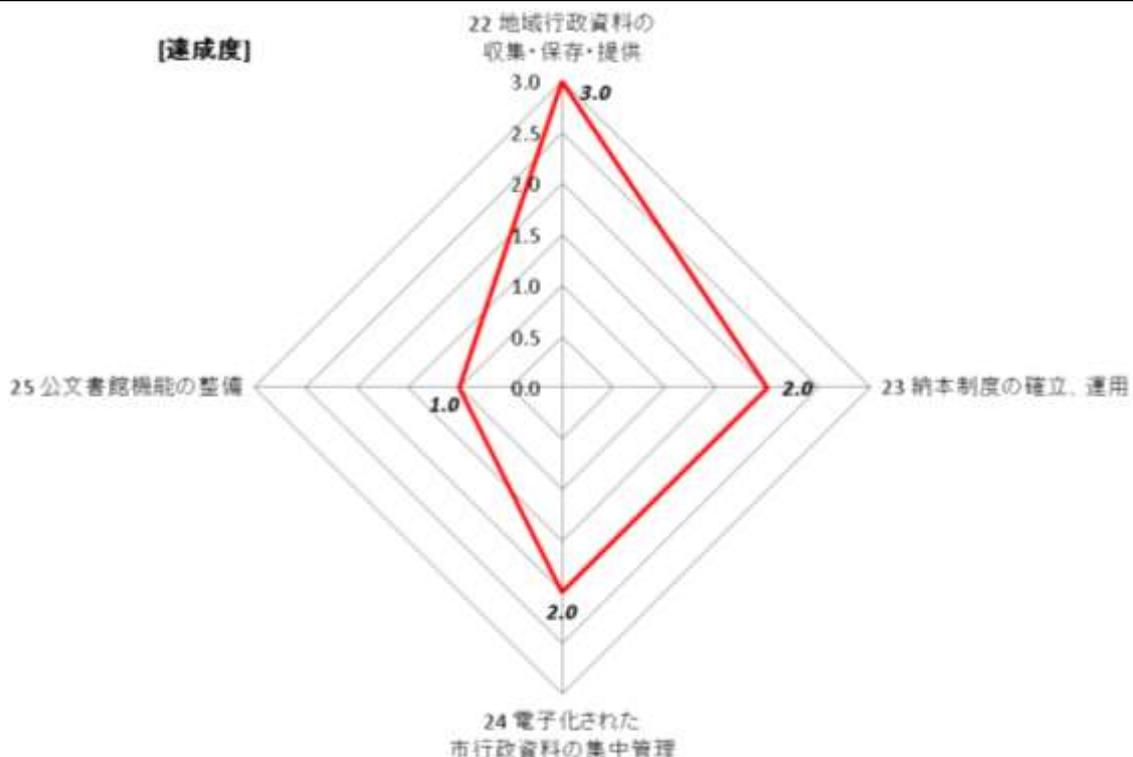
- 「日野市についてよくある質問 (レファレンス事例集)」の追加・更新を行った。(「TOYODABER」等)

21 図書館ホームページの「リンク集」の拡充

○閉鎖されたサイトの削除やリンク切れの修正・整理を実施。

●インターネットによる検索環境が整ってきたことにより、リンク集をコンパクトでわかりやすくすることが課題。

4. 図書館は、日野市の地域・行政資料を収集・保存・提供し、日野市の歴史を未来に伝えます



[主な成果・課題等]

<○成果、●課題>

(1) 地域・行政資料の収集・保存・提供

22 地域・行政資料の収集・保存・提供

- 長期の資料提供に耐えられるよう、劣化した資料を新しくファイルし直した。
- 古い新聞記事ファイルを新しくファイルし直し、探しやすくした。
- 資料を提供・保存するために、整理、修理、廃棄の検討が必要。

(2) 市政図書室の機能充実

23 市刊行物の納本制度

- 庁内情報システム掲示板において庁内刊行物の収集について協力依頼を実施。
- 庁内刊行物の納本制度の仕組みづくりについて、検討中。

24 電子化された市行政資料の集中管理

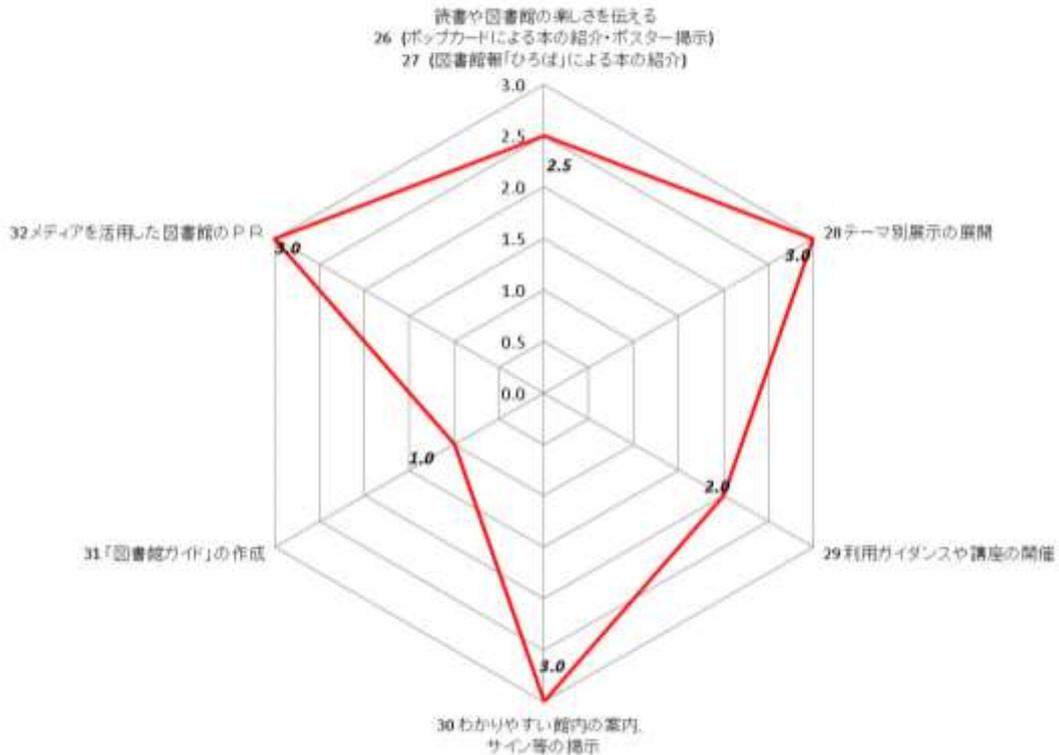
- 市ホームページに公開される電子データの行政資料を定期的にチェックし、図書館ネットワークのハードディスク内に保存。
- 電子データの保存すべき行政資料の選択保存、活用方法については、今後検討を行う。

25 公文書館機能の整備

- 現用文書管理担当の総務課、歴史資料担当の郷土資料館と個別に相談・検討を実施。
- 関係各課が一堂に会した協議の場が必要。

5. 図書館は、読みたい、調べたい、学びたいという市民を応援します

[達成度]



[主な成果・課題等]

<○成果、●課題>

(1) 読書や図書館の楽しさを伝える

26・27 読書や図書館の楽しさを伝える (ポップカードによる本の紹介・ポスター掲示) (図書館報「ひろば」による本の紹介)

- 50周年をきっかけに、読書会の実施を開始。
- 子どもたちのオススメ本を展示 (中央)、大学生のオススメ本を紹介 (高幡)、本を紹介するポップ、ポスターの作成 (日野、百草)、時事問題の展示、(多摩平)、中学生のオススメ本を紹介 (平山) など、読書の楽しさを伝える展示等を各館で実施、貸出につながった。
- 子どもだけでなく大人にも読書の楽しさを伝える取り組みが必要。
- 図書館報「ひろば」、図書館ホームページの活用をさらに図ることが課題。

28 テーマ展示の展開

- 全館で季節や社会情勢など利用者のニーズに応じたテーマ展示を実施。
- 他課と連携した企画を継続して実施している (環境・平和・認知症、子育て、児童虐待、自殺防止等)。
- 近年継続して行っている同一テーマの展示については、その時の状況に応じた展示資料の選択などが必要。
- 他課と連携した企画は、今後も継続し、広く他の課にも展開していくことも必要。

(2) 「図書館」の魅力を伝えるために

29 利用ガイダンスや講座の開催

- 中央館のバックヤードツアーを実施。図書館の機能を市民に紹介することができた。
- 児童向けを含めたシンプルで読みやすい利用案内の検討が必要。
- ガイダンス開催には至らなかったが、大人向け、子ども向け、また、来館、利用が困難な方への利用案内を作成、配布。

30 わかりやすい館内の案内、サイン等の提示

- 既存の館内表示や書架案内板等を点検し、内容の更新や案内板の修繕を実施した。
- イベント等の掲示物に埋没しないよう、館内サービスや図書館イベントのわかりやすい掲示をする。

(3) 未利用者の開拓

31 「図書館ガイド」の作成

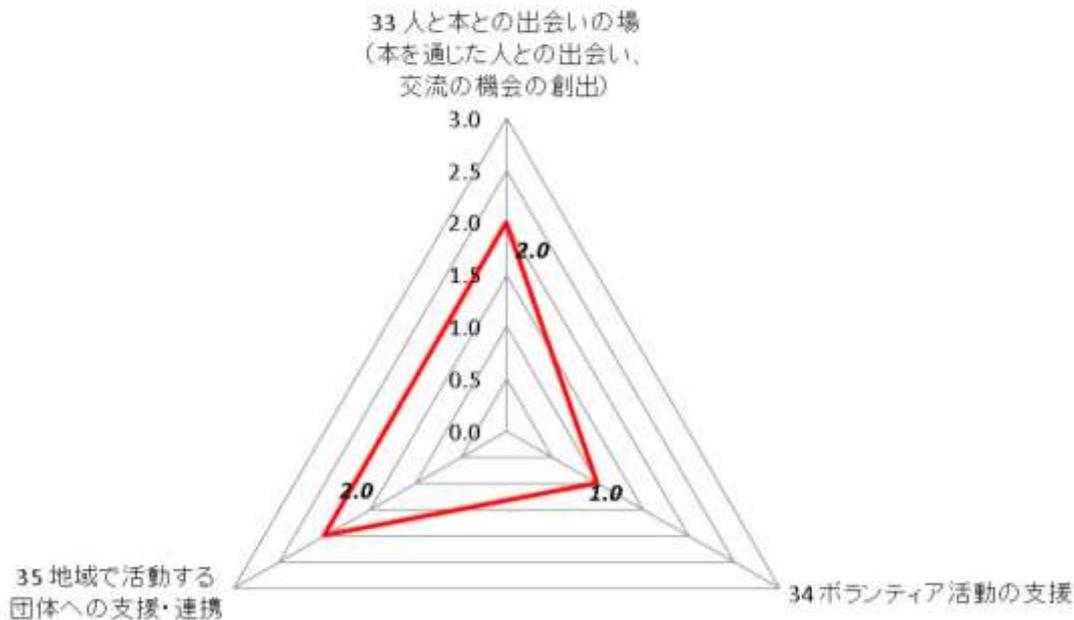
- 原案を作成中。
- 「図書館ガイド」を完成させて市内各施設、店舗などに配布。図書館を知ってもらうことが課題。

32 メディアを活用した図書館のPR

- 図書館50周年記念事業等をプレスリリースすることにより、マスメディアを積極的に活用してきた。
- ケーブルTVを活用して、図書館50周年記念事業や平和月間のテーマ展示等をPRしてきた。
- 七生支所通路側モニターにおいて、図書館PR映像の放映を実施。
- 『はたらくじどう車』（あかね書房）等の児童書に移動図書館ひまわり号の写真が掲載された。
- プレスリリース等を活用した積極的なPRを継続することが必要。

6. 図書館は、資料や情報を介して、地域の人と人との交流を促します

[達成度]



[主な成果・課題等]

<○成果、●課題>

(1) 人と本との出会いの場

33 人と本との出会いの場 (本を通じた人との出会い、交流の機会の創出)

- 読書会を3年連続実施。
- 読書会参加者による市民主催の読書会が立ち上げられた。
- ヤングスタッフオススメ本コーナーに、来館者にもオススメ本を紹介してもらうコーナーを設置。それに対してヤングスタッフが返事を掲示して、双方向の掲示ができています。(高幡)
- 利用者がオススメ本を紹介する手法も検討課題。

(2) 市民の図書館活動・運営への参加

34 宅配ボランティア活動の支援

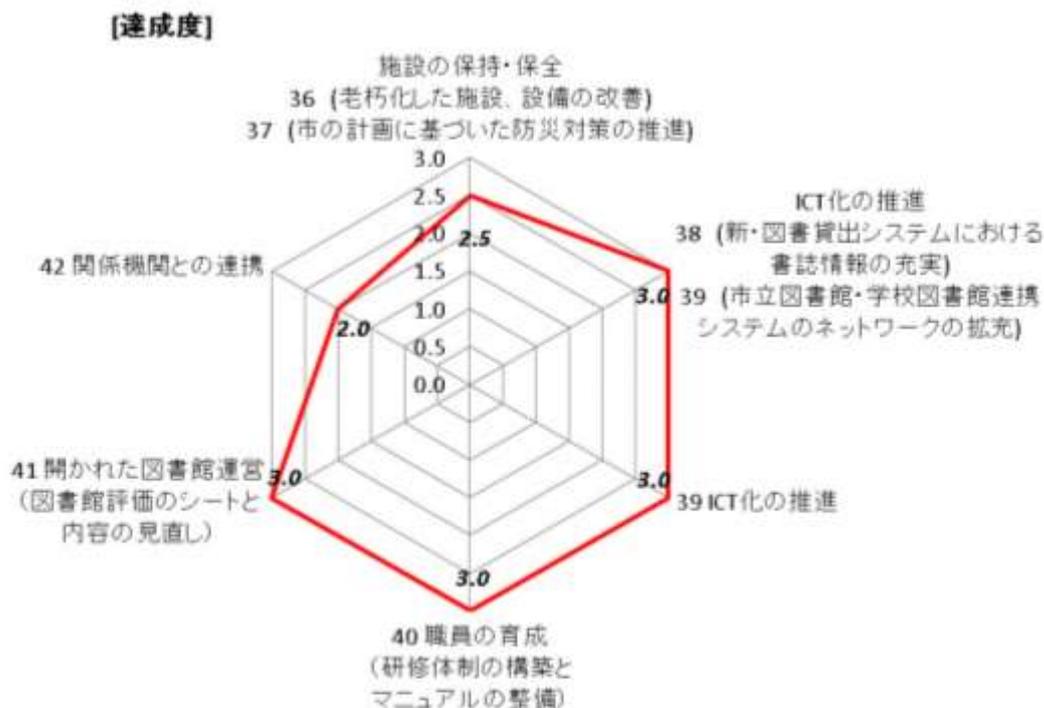
- 宅配の活動をしていなかったボランティアと新規宅配先をコーディネートできた。
- 現在宅配ボランティアだけであるが、様々な形でボランティアを受け入れられる体制づくりが課題。

(3) 地域で活動する団体への支援・連携

35 地域で活動する団体への支援・連携

- 図書館の集会室、ギャラリーを市民に提供し、サークル等の活動を継続して支援している。
- 「日野宿発見隊とは」等のチラシを作成。イベントや講座等で配布。

7. 図書館の運営に関わること



[主な成果・課題等]

<○成果、●課題>

(1) 図書館運営に関すること

36・37 施設の保持・保全(老朽化した施設、設備の改善)(市の計画に基づいた防災対策の推進)

- 屋上防水及び天井改修工事(中央、高幡、百草)、空調設備修繕(百草)、防水改修工事(平山)その他各施設の老朽化等に伴う緊急の修繕を実施。
- 平成26年度に中央図書館の耐震診断を実施。補強の必要性があると診断された。
- 施設の老朽化に対応するため、計画的な修繕・耐震工事を実施中。
- 中央図書館の機能面の改善を含めたリニューアル工事の基本設計を平成28年度に作成。
- 各施設老朽化しているため、計画的な修繕が必要。

38・39 ICT化の推進(新・図書貸出システムにおける書誌情報の充実)(市立図書館・学校図書館連携システムのネットワークの拡充)

- 平成25年度に図書貸出管理システムを更新し、書誌情報の充実等を図れた。
- 図書貸出管理システムにログ管理システムを導入することによりセキュリティを強化した。
- 市立図書館・学校図書館連携システムについて、新規に専用回線を設置。このシステムにもログ管理システムの導入によるセキュリティ強化。
- マニュアル等によるログ管理システムの運用方法を徹底し、状況に応じた適切な運用方法の見直しが必要。
- 平成30年度のシステム更新に向けて、あらたなメニューも含んだ仕様の検討が課題。

40 職員の育成（研修体制の構築とマニュアルの整備）

- 職員が年一回図書館内研修を受ける体制を作った。
- （再掲）求められた資料を的確に提供するため、職員のレファレンススキルの向上等目的とした研修を適宜実施している。
- 図書館サービスに関する専門的研修から接遇研修まで、図書館職員としてのスキルを磨くと共に、最も適切なテーマを選択して研修を継続していくことが必要。

41 開かれた図書館運営（図書館評価のシートと内容の見直し）

- 中央図書館リニューアルプランを策定するに当たって、市民の意見を聞くため、市民懇談会を開催した。
- 図書館に関する運営評価を毎年実施、公表している。
- 運営評価は、公募した市民委員が含まれる図書館協議会に図っている。
- 評価事業と市の主要事業との関連について、評価シートに市の主要事業番号欄を設け明確にした。
- 図書館評価について、より分かりやすいものとなるよう、評価シート・評価内容の見直しの継続が必要。

（2）関係機関との連携

42 大学図書館との連携

- 実践女子大学とは連絡会やイベントを通じて良好な関係を保っている。
- 他大学図書館との連携も検討する。
- 大学側は、図書館間の連携にとどまらず学生と市民の交流を希望。交流機会の検討が必要。